

凌霜

りょうそう

郡上市教育理念

「凌霜の心で拓く明日の郡上市」

「凌霜の心」高い志と不屈の精神・感謝の心

オリンピックで柔道の

「形」を演武！

〜郡上市ゆかりの2選手〜

東京2020オリンピックの柔道競技にあわせて、郡上市にゆかりのある石田桃子さん・真理子さん姉妹（名古屋市在住）が柔道の「形」を演武されます。



▲桃子さん(左)、真理子さん(右)

柔道は、選手が技を掛け合つて勝敗を決める「乱取り」のイメージがありますが、「形」は、取と受に分かれ、決められた手順で技をかけ、受け止め反撃し、それを反復することでその理合いを理解し、技を完成させる修

行方法です。その種類は、2人が演武する「柔の形」をはじめ、「投の形」「固の形」「古式の形」「講道館護身術」などがあります。

2人は、八幡町鍛冶屋町で民宿「小川屋」を営む石田ヒサ子さんの孫で、お父さんの雅明さんは、名古屋市で接骨院と柔道場を営んでみえます。2人は、この道場で幼少期から柔道を始め、2010年からは、姉妹で「柔の形」に取り組むようになりました。

2012年から全日本強化選手に指定され、以後、全日本大会で3度、アジア大会で2度、さらに世界大会で2度優勝（連覇）するなど、その実力は世界トップクラスです。これらの実



績により、「柔の形」の演武が1964年の東京オリンピック以来行われることとなりました。

「柔の形」は、緩やかな動作で力強く、表現的に組み立てられた15本の技からなっています。当日は、2人が目指す「つよく、やさしく、うつくしく」を体現する演武を期待し、郡上市にゆかりのある2人を応援しましょう。



図書館から

「未来」が見える？

郡上市図書館は、白鳥に本館、八幡に分館があり、高鷲・大和・美並・明宝・和良に分室があります。7館にある本は、どの館（室）でも借りられ、どの館（室）でも返せます。予約もできます。

現在、予約が集中しているのは、東野圭吾の『白鳥とコウモリ』と『ブラック・シヨーマン』と名もなき町の殺人、町田そのこの『52ヘルツのフジラたち』です。朝井リョウや恩田陸、辻村深月、中山七里、湊かなえなどの新刊本も、すぐに貸出し中になります。今の社会を鋭くとらえている作家たちなのでしょう。



▲新刊コーナーには話題の作品がたくさんあります

ノンフィクションでは、格差やハラスメント関係の本、LGBTなど多様性に関する本、SDGsに関する本などをよく目にします。一方で「どうして今これが人気なの？」という本があります。児童書では、『無人島のサバイバル』などのサバイバルシリーズが大人気です。大人向けでは、『娘のトリセツ』など人間関係の「取扱い説明書」的な本や、『織細さん』をキーワードとし「空気が読まなくていいよ」と訴える本、FXなど投資に関する本などが目につきます。これから社会は、どのように変化していくのでしょうか。そのヒントが図書館にもありそうです。皆様の来館を、心よりお待ちしております。